

固定電話のIP網への移行後の サービスについて

2 0 2 2 年 1 月 2 0 日
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社

はじめに

- 当社はこれまで、2010年11月に「PSTNのマイグレーションについて～概括的展望～」、2015年11月には「『固定電話』の今後について」、2017年10月には「固定電話のIP網への移行後のサービス及び移行スケジュールについて」を公表し、現在ご利用いただいている「固定電話※」で用いる固定電話網（PSTN）を、2024年1月より（順次）IP網へ移行することについてお示ししてきました。

※ 当社が固定電話網（PSTN）により提供する加入電話及びINSネット（音声通話）

- 以前よりお示していたとおり、IP網への移行後の固定電話（以下「2024年以降の固定電話」と称します。）の提供条件等について公表をさせていただくとともに、加入電話・INSネットのお客さまに、順次ダイレクトメール等を用いてお知らせを実施してまいります。

基本的な考え方

2024年以降の固定電話について、これまで公表させていただいている通り、基本的な音声サービスは継続提供しつつ、わかりやすい料金体系へ変更いたします。

- **基本的な音声サービスを継続提供**

(基本的な通話に加え、ISDNの通話モード、キャッチホン、ナンバー・ディスプレイ、公衆電話 等)

- **お客さま宅での工事は不要で、電話機等は継続利用可能**

(既存のメタルケーブルを継続利用)

- **基本料は現状と同額**

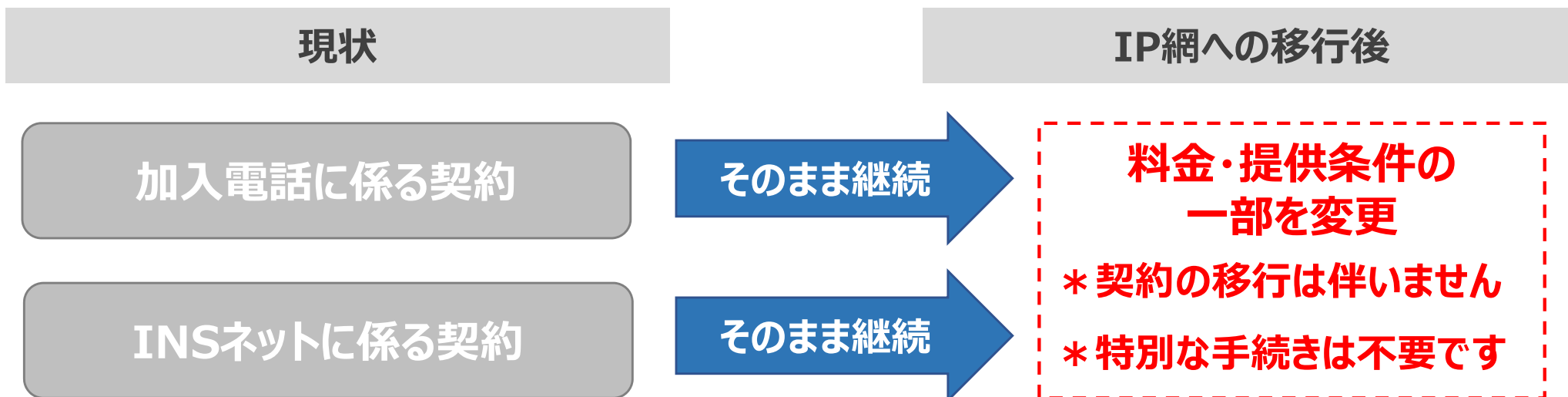
- **通話料は距離に依存しないIP網の特性を活かし、わかりやすい料金体系へ変更**

(ひかり電話と同様に全国一律のフラットな料金へ)

- **NTT東西と他事業者のお客さま間の通話も継続提供**

2024年以降の固定電話への移行手続き

- IP網への移行に際し、お客さまによる手続きは不要です。
- 加入電話・INSネットの契約もそのまま継続とします。（契約の移行は伴わない）※
- 加入者回線については、既存のメタルケーブルを継続利用しますので、お客さま宅での工事は発生せず、現在ご利用中の電話機などもそのままご利用いただけます。



※ 「電話加入権」・「INSサービス利用権」についても、名称及び内容に変更ありません。

基本料金

- **基本料（回線使用料）は、現在の基本料と同額とします。**
（付加機能使用料、端末設備使用料も同額）

【代表的な基本料の例】

(月額・税込)

現状				IP網への移行後			
		事務用	住宅用			事務用	住宅用
※1・2 加入電話	3級取扱所	2,750円	1,870円	※1・2 加入電話	3級取扱所	現状と同額	
	2級取扱所	2,585円	1,705円		2級取扱所		
	1級取扱所	2,530円	1,595円		1級取扱所		
INSネット64※1		3,883円	3,058円	INSネット64※1			

※1 施設設置負担金のお支払いを伴う場合を記載しています。

※2 ダイヤル回線用の場合を記載しています。プッシュ回線用の料金は下記ページをご参照ください。

NTT東日本 (<https://web116.jp/phone/fare/kihonryo.html>)

NTT西日本 (<https://www.ntt-west.co.jp/denwa/charge/basic/basic.html>)

また、電話サービス取扱所については下記ページをご参照ください。

NTT東日本 (<https://web116.jp/phone/fare/kyoku.html>)

NTT西日本 (https://www.ntt-west.co.jp/denwa/common/pdf/c_tariff196.pdf)

通話料

■ IP網移行にあたり、距離に依存しないIP網の特性を活かした、シンプルでフラットな料金体系とします。

通話料（税込）		現状	IP網への移行後	
固定電話発	固定電話着	昼間・夜間：9.35円/3分～11円/45秒 深夜・早朝：9.35円/4分～11円/90秒 ＜距離段階・時間帯別・県間通話未提供＞	9.35円/3分 ＜全国一律・全時間帯＞	
	携帯電話着	17.6円/分	現状と同額	
	050IP電話着※	11.55～11.88円/3分 ＜事業者別＞	11.55円/3分	
公衆電話発	固定電話着	昼間・夜間：56秒/10円～8秒/10円 深夜・早朝：76秒/10円～13.5秒/10円 ＜距離段階・時間帯別＞	56秒/10円 ＜全国一律・全時間帯＞	
	携帯電話着	15.5秒/10円	現状と同額	
	050IP電話着※	17.0～18.0秒/10円	18.0秒/10円	
フリーアクセス着	固定電話発	県内	昼間・夜間：9.35円/3分～11円/45秒 深夜・早朝：9.35円/4分～11円/90秒 ＜距離段階・時間帯別＞	9.35円/3分
		県間	未提供	未提供
	公衆電話発		昼間・夜間：62秒/11円～9秒/11円 深夜・早朝：82秒/11円～15秒/11円 ＜距離段階・時間帯別＞	62秒/11円 ＜全国一律・全時間帯＞
	携帯電話発		15秒/11円～16.5秒/11円 ＜時間帯別＞	15秒/11円 ＜全国一律・全時間帯＞

※ 同一の料金体系であるひかり電話発050IP電話着も同様に変更します。

提供条件（提供を継続・終了するサービス）

- IP網への移行後も、基本的な音声サービスについては提供を継続するとともに、お客さまのご利用が多く、IP網においても提供可能なサービスについてもサービス提供を継続します。
- お客さまのご利用の減少が今後見込まれるサービスやIP網において提供が困難であるサービスについては、2024年1月に提供を終了します。

提供を継続するサービス	IP網への移行に合わせて提供を終了するサービス
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な音声サービス ・公衆電話 ・110（警察） 118（海上保安） 119（消防） ・117（時報） ・177（天気予報） ・104（番号案内） ・115（電報） ・ナンバー・ディスプレイ ・ナンバー・リクエスト ・迷惑電話おことわりサービス ・キャッチホン ・ボイスワープ ・ボイスワープセレクト ・フリーアクセス ・#ダイヤル ・代表取扱いサービス ・ダイヤルイン ・硬貨収納等信号送出機能（ピンク電話） 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・INSネット(デジタル通信モード)[※] ・ビル電話 ・着信用電話 ・支店代行電話 ・有線放送電話接続電話 ・短縮ダイヤル ・キャッチホン・ディスプレイ ・ナンバー・アナウンス ・でんわばん ・トーキー案内 ・発着信専用機能 ・ノーリング通信 ・二重番号サービス ・トリオホン ・なりわけサービス ・114（お話中調べ） ・空いたらお知らせ159 ・ナンバーお知らせ136

※INSネット（デジタル通信モード）の提供終了までに別サービス等への移行が間に合わないお客さまに対して、当面の対応策として、「切替後のINSネット上のデータ通信」（補完策）を2027年頃までを目途として、一定期間提供させていただく予定です。

提供条件（継続サービスのうち仕様変更するサービス）

新規

■ IP網移行後も提供を継続するサービスのうち、一部サービスについて仕様を変更します。

【変更内容】

サービス名	変更内容
フレックスホン	・通信中の呼を第三者に転送できる機能（通信中転送機能）が終了となります。
代表機能	・グループを組んだ加入電話・INSネットの間で、着信時に自動的に空いている他の回線につなげる際、一部のケースで子番号の変更が必要となります。
料金情報通知機能	・携帯電話、050IP電話、他事業者料金設定との通信の場合、通信終了時に表示していた通信料金（概算）が非表示となります。
通信中機器移動	・通話中に一時中断し、通信機器を移動後、通話を再開できるサービスにおいて、「中断」・「再開」を通知しない仕様に変更となります。
ユーザ間情報通知	・サービスの使用料が無料となります。
硬貨収納等信号 送出機能（ピンク電話）	・距離段階・時間帯別の料金設定から、公衆電話に準じ全国一律料金に変更となります。
迷惑電話 おことわりサービス	・ひかり電話と同様に、自動応答メッセージ内で着信者の電話番号はお伝えしない仕様に変更となります。
ナンバー・リクエスト	・「ボイスワープ」の利用にて、転送先のご契約者さまが「迷惑電話おことわりサービス」、「ナンバー・リクエスト」を契約されている場合、「ボイスワープ」による転送トークのガイダンス終了後に、本サービスの自動応答メッセージを確認いただく必要があります。
117 (時報)	・時報通知後に通話が切断するタイミングが短縮される仕様になります。

提供条件（通話料割引サービス）

新規

■ 通話料をシンプルでフラットな料金体系とすることに伴い、現状の通話料割引サービスは全て提供を終了いたします。

【終了する割引サービス一覧】

個人のお客さま向け

- イチリッツ
- スーパーケンタくん
- ケンタくん
- ケンタくん5
- タイムプラス・INSタイムプラス
- エリアプラス・INSエリアプラス
- テレホーダイ・INSテレホーダイ
- i・アイプラン

法人のお客さま向け

- ワリマックス
- ワリマックス・プラス
- ワリビック
- プロフィッツ（NTT東日本のみ）
- プロセレクト（NTT東日本のみ）
- プロスペクト（NTT東日本のみ）
- ワリエース（NTT西日本のみ）
- プレミレート（NTT西日本のみ）
- 県内異名義割引
- i・スクール

※お客さまの利用状況に応じて値上げとなる可能性はありますが、通話料の全国一律化により多くのお客さまにおいて負担増は生じない見込みです。

参考：通話料割引サービス概要

(表内はいずれも税込)

個人のお客さま向け

サービス名	概要
イチリッツ	定額料の支払により、距離・時間帯に関係なく、県内通話料が一律9.35円/3分または8.25円/3分となる割引 (ご契約にはマイラインまたはマイラインプラス登録が必要)
スーパーケンタくん	定額料の支払により、県内市外通話料を割引
ケンタくん	県内通話料において、上位3つの電話番号への通話料が月1,650円以上の場合に、その通話料を割引
ケンタくん5	県内市外通話料において、上位5つの電話番号への通話料が月550円以上の場合に、その通話料を割引
タイムプラス INSタイムプラス	定額料の支払により、市内通話料金が9.35円/3分から9.35円/5分となる割引(深夜・早朝は9.35円/7分)
エリアプラス INSエリアプラス	定額料の支払により、隣接・20kmまでの通話料金が市内通話料金と同額となる割引
テレホーダイ INSテレホーダイ	定額料の支払により、深夜・早朝帯に限り、あらかじめお客さまが選択された2つの電話番号への通話料が定額となる割引
i・アイプラン	定額料の支払により、あらかじめお客さまが選択された同一区域内の1つの電話番号への通話・通信が一定額分までご利用いただける割引

法人のお客さま向け

サービス名	概要
フリマックス	一定額の支払いを約束いただいた場合、複数の事業所でご利用いただいた県内通話料金の合計額に応じて、県内通話料を割引
フリマックス・プラス	一定額の支払いを約束いただいております、複数の事業所でご利用いただいた県内通話料金の合計が一定額以上(11,000円以上)となった場合、県内通話料を割引(ご契約にはマイラインプラスのご登録が必要)
フリビッグ	同一事業所内でご利用いただいた県内通話料金の合計額に応じて、県内通話料を割引
プロフィッツ (東日本のみ)	INSネット1500をご利用中のお客さまを対象として年間の市内(同一区域内)通話料と県内通話料について、一定額の支払いを約束いただいた場合、県内通話料を割引
プロセレクト (東日本のみ)	年間の通話料について、一定額の支払いを約束いただいた場合、事業者単位で県内通話料を割引
プロスペクト (東日本のみ)	年間の県内市外通話料と県内通話料について、一定額の支払いを約束いただいた場合、ユーザ単位で県内通話料を割引
ワリエース (西日本のみ)	定額料の支払により、INSネット1500をご利用中のお客さまを対象に、月間県内通話料33万円以上ご利用の場合、県内通話料を割引
プレミレート (西日本のみ)	あらかじめお客さまが指定された同一名義の回線グループにおいて年間の通話料について、一定額の支払いを約束いただいた場合、県内通話料を割引
県内異名義割引	電気通信事業者名義の回線を割引選択代表回線(以下、ホスト回線)とし、ホスト回線と異なる名義の回線と共に回線グループを構成した場合に、その回線グループの県内通話料の合計額に応じてその通話料金を割引
iスクール	学校に限定したサービスで、定額料の支払により、あらかじめお客さまが選択された同一区域内の1つの電話番号への通話・通信が一定額分までご利用いただける割引

提供条件（マイライン・マイラインプラスの終了）

新規

- IP網への移行に伴い、マイライン・マイラインプラスを終了します。
- 現在マイライン・マイラインプラスに登録されているお客さまのうち、一部、特定の事業者さまのサービスを利用される法人ユーザを除き、NTT東西の通話サービスをご利用いただきます。（国際通話を含め「00XY」をダイヤルする事業者選択は引き続き利用可能）
- 今後順次、全てのお客さまに対してマイライン・マイラインプラス登録状況および移行先事業者の通話サービスをお知らせします。

（参考）マイライン・マイラインプラスとは

マイライン
(電話会社選択サービス)

「00XY」などの電話会社の識別番号をダイヤルせずに、電話会社を利用できるサービス

マイラインプラス
(電話会社固定サービス)

通話ごとに電話会社の識別番号をダイヤルしても、登録された電話会社のみのご利用ができるサービス

大切なお知らせ

- 固定電話のIP網への移行等に乗じた、悪質な販売行為にご注意ください。
- お客さま宅での電話機の交換や回線の切替手続き・工事は不要です。
- 現在ご利用中の電話番号は変わらず、電話機もそのままご利用いただけます。

【悪質なセールストーク例】

古い回線を新しい回線に交換する工事が必要です

アナログ電話が使えなくなるので、デジタル電話機の購入や切替工事が必要です

このあたり一帯で回線の切替工事があり、今までの電話機が使えなくなります